

ホンドギツネの「コウシロウ」が死亡しました (よこはま動物園)



元気なころの「コウシロウ」

よこはま動物園で飼育していたホンドギツネの「コウシロウ」が死亡しましたので、お知らせします。

○ホンドギツネ「コウシロウ」

- (1) 性 別 オス
- (2) 出 生 日 不明 (推定 11 歳)
- (3) 死 亡 日 時 令和 3 年 4 月 14 日 (水) 午前 9 時 00 分 死亡 確認
- (4) 死 因 加齢に伴う衰弱
- (5) 経 過 昨年より体調を崩すことが度々あり、年齢を考慮し、状態をみながら飼育管理してきました。冬季には展示場を散策している様子が多く見られ、食欲旺盛で元気に過ごしていましたが、4月頃から歩行の異常が目立つようになりました。死亡前日の朝も著しい歩行の異常が見られたので、展示を休止し経過観察していましたが、4月14日に死亡を確認しました。

● コウシロウのプロフィール

平成 22 年 5 月に石川県で狩猟用のワナにかかっていたところを保護され、その際に負った怪我の影響が右後肢に残っていました。他のホンドギツネには見られない丸みをおびた目が印象的で、同年 10 月にズーラシアに来園して以来、多くの来園者の方に愛されていました。

献花台について

令和 3 年 4 月 20 日(火)～5 月 2 日(日)の期間、ホンドギツネ展示場前に献花台を設置します。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】

ホンドギツネについて

和名	ホンドギツネ
英名	Red Fox
学名	<i>Vulpes vulpes japonica</i>
分類	食肉目 イヌ科
分布	本州、四国、九州
生態	北半球の全域に広く分布するアカギツネの一亜種でホンドギツネと呼ばれ、北海道にすむキタキツネや大陸産のものと区別されます。海岸から高山までの広い範囲に分布しますが、農耕地や原野、森林などの環境を好みます。小動物から昆虫、果実と幅広い食性をもっています。巣穴はふつう繁殖期のみ使われ、主に丘陵地の斜面などに自ら掘って作られます。子育てには前年生まれの子メスがヘルパーとなって、親を助けることが知られています。
ワシントン条約 (CITES)	該当なし
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	低危険種 (LC) : 軽度懸念
当園飼育頭数	1頭 (オス1頭、メス0頭) ※令和3年4月16日現在
国内飼育頭数	53頭 (オス31頭、メス20頭、不明2頭) ※令和3年3月末現在

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
- ◆休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）※3月24日～5月10日は無休
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から
「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000

※よこはま動物園ズーラシアでは、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

- ・土日祝日の入園には、整理券の事前予約が必要となります。
- ・1日の入園者数を8千人程度に制限します。
- ・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。

その他詳細はホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。